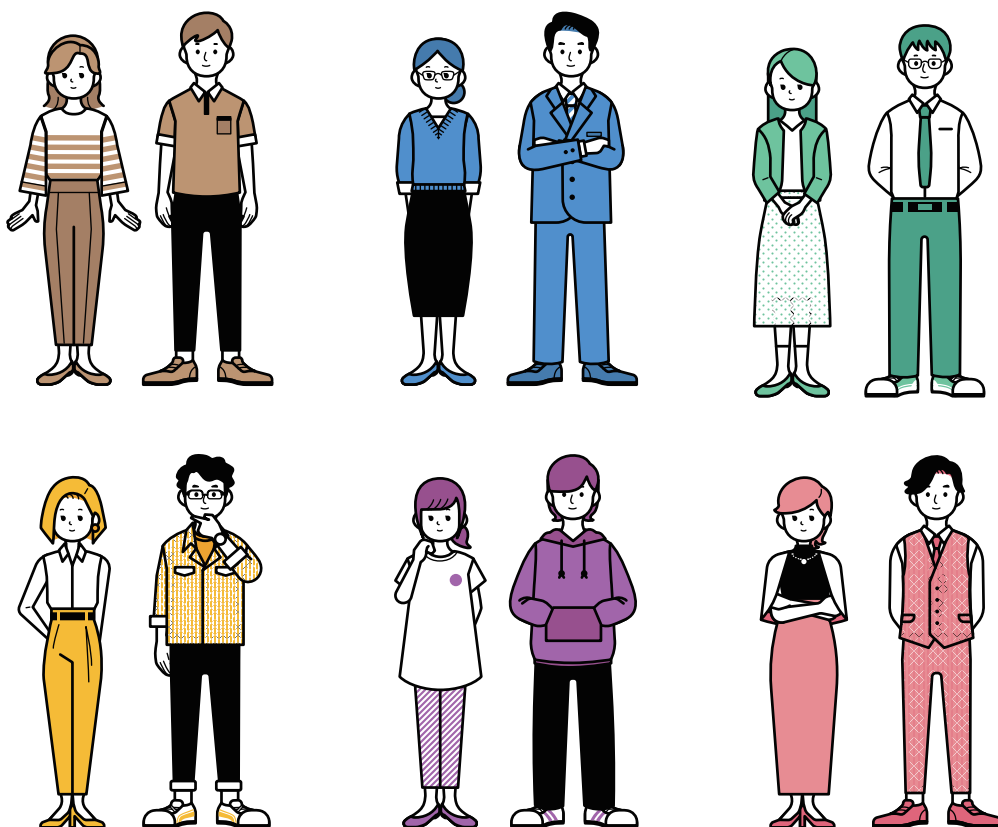


パーソナライズド防災研究所レポート

～6つのパーソナリティタイプの防災傾向と防災スイッチ～

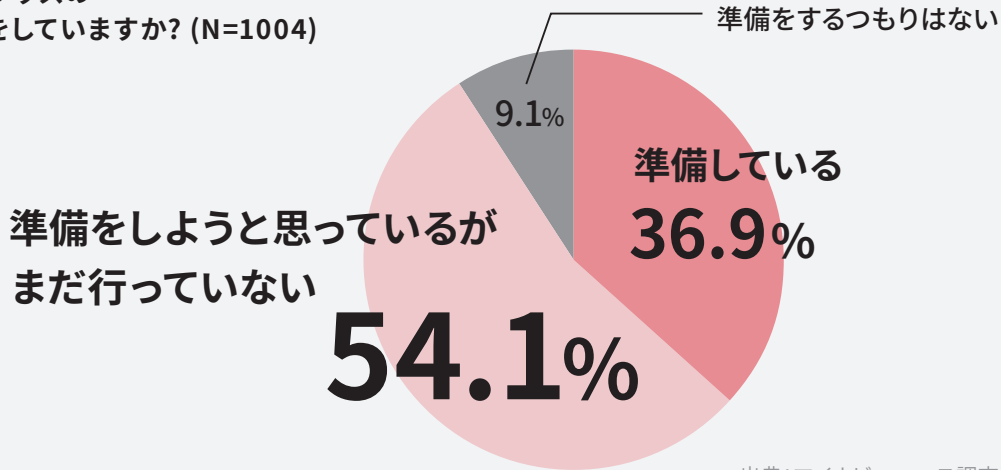


ひとりひとりのパーソナリティ特性に着目して、効率的に防災行動につなげる。

人それぞれの「防災スイッチ」を把握して、本当に効果的な防災施策を。

南海トラフ巨大地震は30年以内の発生率が70～80%、死者数は最大で約32万人に上るとみられています。ただ、50%を超える割合の方々には防災グッズの準備もしていないなど、**防災が満足に行われている状況とはほど遠いのが現実**です。

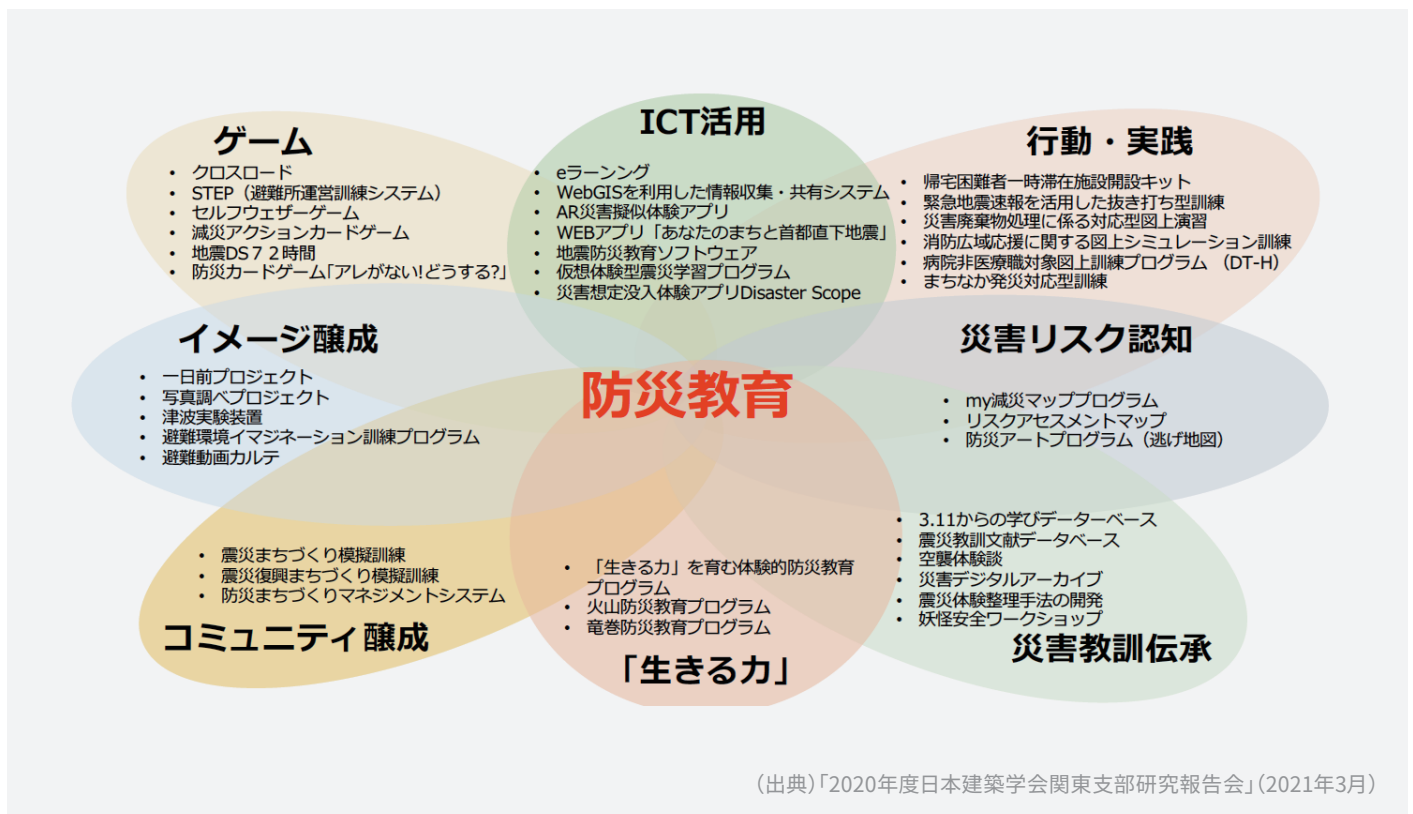
Q.防災グッズの準備をしていますか? (N=1004)



出典:マイナビ ニュース調査

<https://news.mynavi.jp/article/20170616-a184/>

一方、防災への取り組みは多数されています。例えば、以下は防災教育に関する取り組みを一般社団法人減災ラボが取りまとめたものですが、**非常に多岐にわたり防災教育は実施されています**。それにも関わらず、**防災行動につながっていないのはなぜでしょうか?**



(出典)「2020年度日本建築学会関東支部研究報告会」(2021年3月)

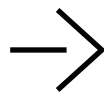
「防災への取り組みは実施されているのに、防災行動につながらない」この課題に対する仮説をつくることにつながる、私たちパーソナライズド防災研究所のメンバーの体験がありました。

仲の良い友人と一緒に暮らしていた20代女性のメンバー。彼女自身は防災意識が高く、備蓄などもしっかり実施。一方、友人は防災意識が低く、なるようになるよ、というタイプ。2人は、社会的には20代女性とカテゴライズされ、同じようなタイプとして分類されるが、2人の防災意識・行動はまったく違う。

この体験は、彼女自身の中に違和感を残し続けていました。この体験を軸にメンバー内でディスカッションを重ね、「もっと一人ひとりの深い部分、性格のようなところにフォーカスをあてないと、防災意識の向上、防災行動につながらないのではないか」という仮説を生み出しました。



ママ向け
高齢者向けなどの防災



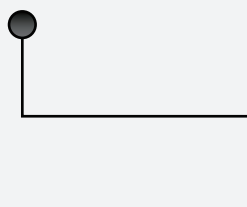
一人ひとりのパーソナリティを
捉えた防災

〈課題への仮説〉

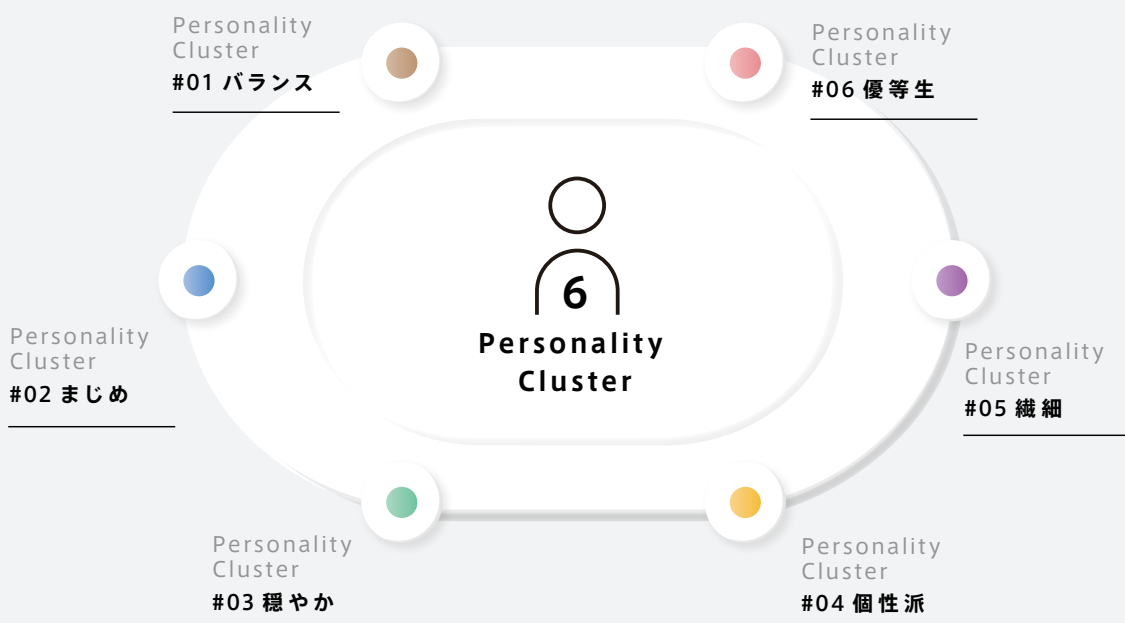
**もっと一人ひとりを捉えた防災を行うことが、
防災行動の実施につながる。**

そこで、パーソナライズド防災研究所は、1120名分のパーソナリティ項目と、防災に関する定量データを収集、データをクラスタリング分析にかけました。

クラスタの構築方法

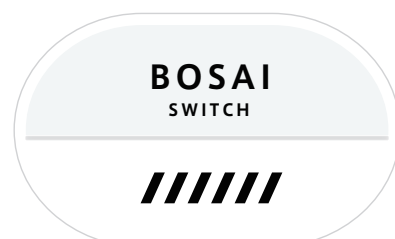
- 
1. 東京都30～40代の1120名分のデータを用意。
 2. データをクラスタリング分析により、6つのクラスターに。
 3. 各クラスターごとの傾向をXXXXや言語解析を行い、分析。
 4. 各クラスターごとの特徴を構築

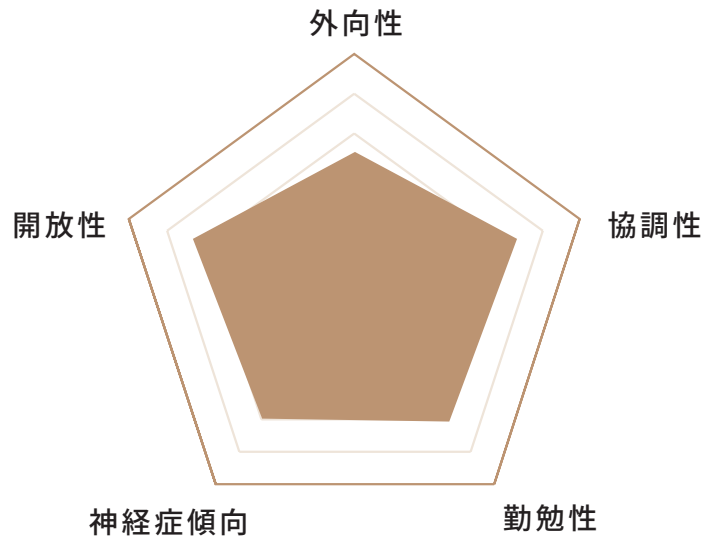
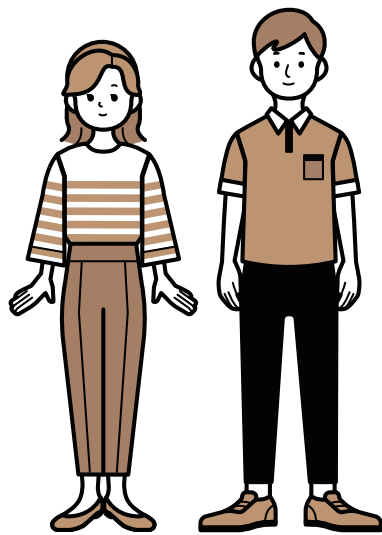
その結果、**6つのパーソナリティクラスターに分類**でき、それぞれのクラスターごとの防災意識や防災行動、さらには防災行動につながる、「**防災スイッチ**」の存在が明らかになりました。それぞれのクラスターごとの特徴を、次のページから見ていきます。



防災スイッチとは？

各パーソナリティごとに、防災行動に繋がりやすいきっかけは異なります。例えば、パーソナリティが「繊細」の女性の人は、防災をしていないことでの、人に迷惑がかかるなどの影響を考えた場合に防災行動を実践する傾向があります。このように、防災行動につながりやすいきっかけが、防災スイッチです。





全傾向のバランスが取れているタイプ。防災の面では、防災知識をあまり持っておらず、災害時の具体的な状況をイメージする力も低めです。反面、防災行動は比較的实施している傾向があります。

防災スイッチ

全体的に防災行動につながりづらい傾向がありますが、「食品や日用品の日頃の買い置きが防災につながることを知る」など、日常生活でできる防災を知ることが防災行動につながる可能性があります。

防災知識

防災知識はあまり持っていませんが、「分散避難や在宅避難」など避難に関する知識は、他の項目と比較して持っている傾向があります。

防災行動



男性

現状危機感や災害時の具体的な状況をイメージする力は低めです。防災行動の実施率は家庭としてはそれほど低くありませんが、家庭の中で防災担当でない割合が高く、もしかしたら家族の誰かがやってくれている可能性があります。



女性

現状危機感や災害時の具体的な状況をイメージする力は低めです。ただ、防災行動はある程度実施しており、家庭の中で自分が防災担当だ、という意識もあります。

特徴的な
防災データ



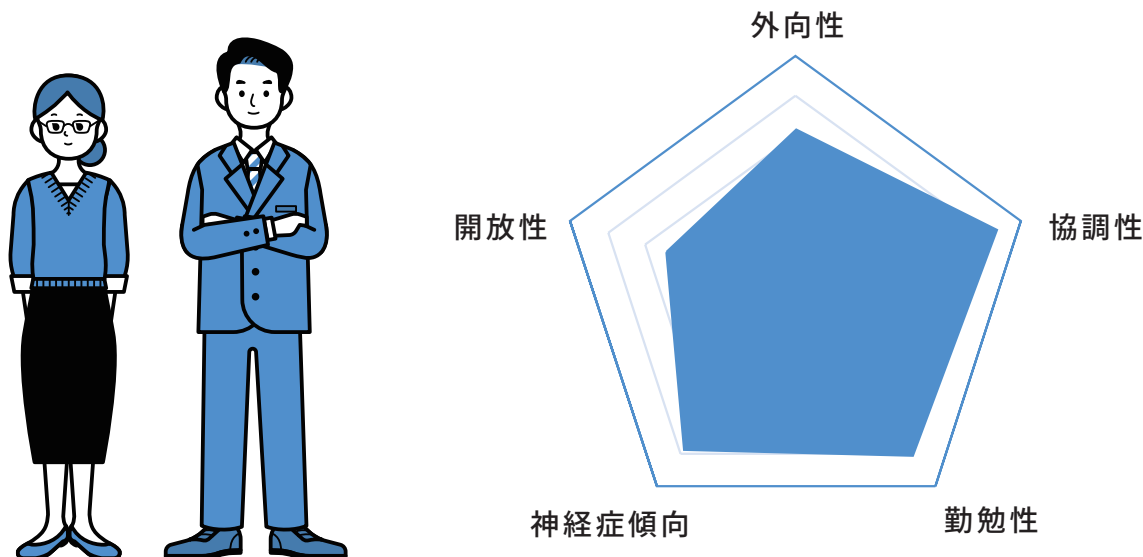
男性

検討したが実施していない防災行動として、「地域の防災訓練への参加」が全クラスターの中でトップとなっています。これは、地域との繋がりを持つきっかけとして防災をしてみたいと思っていながら、行動まで至っていない可能性があります。つまり、このクラスターをうまく地域の防災訓練へ誘えば、参加につながるかもしれません。



女性

検討したが実施していない防災行動として、「非常用持ち出しバッグの準備」が高い傾向があります。これは、家庭の中でできる防災の必要性を感じてはいるが、行動まで至っていない可能性があります。つまり、このクラスターにうまく非常用持ち出しバッグなどを訴求できれば、準備につながるかもしれません。



勤勉性と協調性が高めの、まじめなタイプ。防災の面では、男性は防災知識が低めで女性は高め、防災行動はどちらも実施している傾向があります。

防災スイッチ



男性

「首都直下地震は30年以内の発生率が70%」などの災害に関するデータを知ったり、「家族や友人から日頃の防災をしっかりとしておくように勧められた」場合などで、防災行動を実践する傾向があります。



女性

「家族や知人に対して、防災は大切なことだと自ら話す」「家具固定をしたり非常用持ち出しバッグを準備したりしている人が、自分の周りでもけっこう多いことを知った」など、身の回りの人とのコミュニケーションの延長線にあることが、防災行動の実践につながる傾向があります。

防災知識



男性

防災知識はあまり持っておらず、特に、「必要な水の量」や「汚水管の逆流」など家に関する防災知識が低い傾向があります。



女性

防災知識はかなり高めです。特に「災害用伝言ダイヤル」や「分散避難」などの防災知識が高い傾向があります。

防災行動



男性

災害時の具体的な状況をイメージする力がかなり高く、防災行動の実施率は家庭としては平均的ですが、家庭の中で防災担当でない割合が高く、もしかしたら家族の誰かがやってくれている可能性があります。



女性

災害への危機感がかなり高く、防災行動の実施率も非常に高いです。特に、「飲料・食糧の備蓄」や「非常用持ち出しバッグの準備」など、家の中に関わる行動はかなり高い割合で実施しています。

防災知識



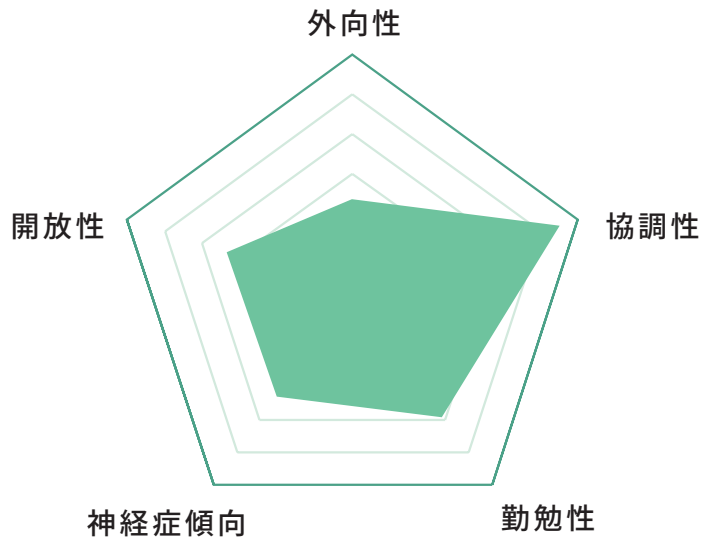
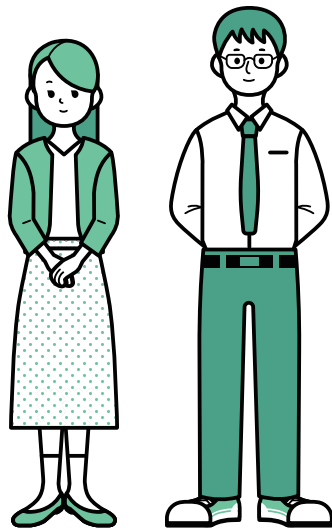
男性

検討したが実施していない防災行動として、「地震保険への加入」「スマートフォンへの防災アプリのインストール」が高い数値を記録しています。このクラスターは災害時の具体的な状況をイメージする力が高いため、防災行動が必要だとは考えているのですが、行動まで至っていない傾向があります。



女性

災害時の具体的な状況をイメージする力が高くないにも関わらず、防災行動をかなり実施しています。反面、「災害時の家族との安否確認方法の共有」や「地震保険への加入」は検討したが実施していないことが多く、災害時の具体的なイメージから、上記の対応の必要性を伝えることで、防災行動につなげられる



協調性が高めで、周りの人に気をつかう、穏やかなタイプ。防災の面では、災害時の具体的な状況をイメージする力と危機感があり、防災知識も比較的高いのですが、防災行動にはあまりつながっていない傾向があります。



男性

防災スイッチ

「友人が被災し、避難所生活の体験談を聞いた」「防災をしていないことで、災害時にさまざまな人に迷惑をかけるということを知った」など、身の周りの人とのコミュニケーションに関すること、「家の近くに災害の危険度が高いエリアがあることを知った」など家の近くの災害危険性の認知などから、防災行動を実践する傾向があります。



女性

「食品や日用品の日頃の買い置きが、災害時にも役立つことを知った」「ふだん使っているものや食べているものが、災害時にも役立つことを知った」など、手軽にできる、と気づいたことから、防災行動を実践する傾向があります。

防災知識

防災知識は比較的高く、かなり高い水準の防災知識を持っています。



男性

防災行動

防災行動はあまり実施できていませんが、「地震保険への加入」や「家具の転倒防止」、「自宅の耐震強度の確認」など、家に関する防災行動は実施している割合が比較的高いです。また、家庭内でも一定程度関わっている傾向があります。



女性

防災行動はあまり実施できていませんが、「飲料・食料の備蓄」や、「非常用持ち出しバックの準備」などの防災行動は実施している割合が比較的高いです。また、家庭内でも防災行動の担当をする傾向が高いです。



男性

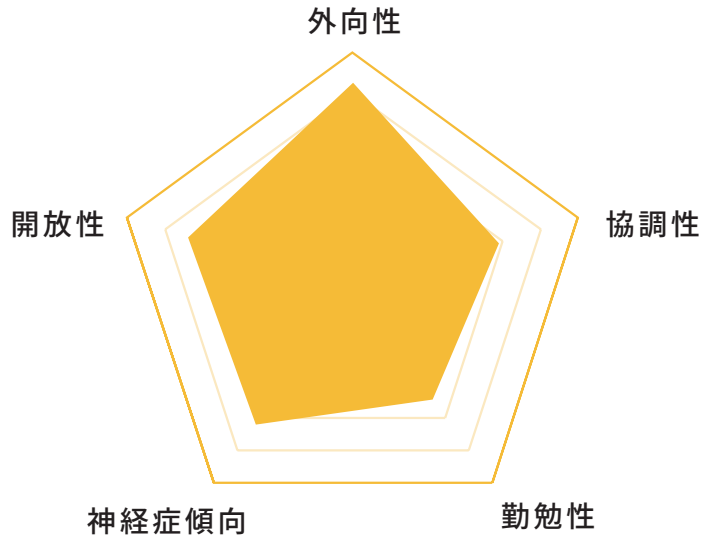
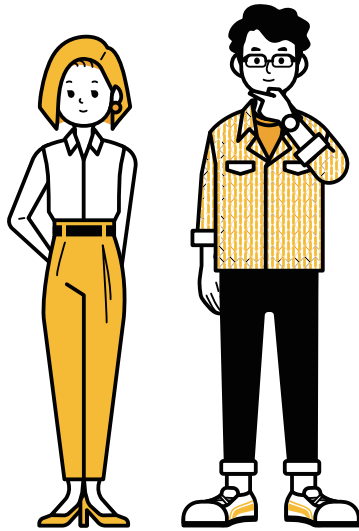
特徴的な 防災データ

検討したが実施していない防災行動が相対的に少なく、一度検討すると実施まで行う可能性があります。そのため、検討してもらうための認知を行うことで、防災行動につながるかもしれません。



女性

全体的に家庭に関する防災行動を実施していたり、日常的にできることから防災行動につながる傾向があります。そのため、うまく日常的なところから、家庭の防災につながることを伝達することで、防災行動につながる可能性があります。



外向性や開放性が高い個性派タイプ。防災の面では、防災知識・災害時の具体的な状況をイメージする力は平均的。また、防災行動はあまり実施できていない傾向があるのですが、家庭の中では防災担当である割合が高い傾向があります。

防災スイッチ



男性

「友人が被災し、避難所生活の体験談を聞いた」「災害のとき、必ずしも避難所に入れるわけではないことを知った」など、被災時に通常の生活が送れずに、避難所で暮らすことになる、ということを知った場合に、防災行動を実践する傾向があります。



女性

「買い物に出かけたとき、売り場で防災用品の特設コーナーを見かけた」際に防災行動につながる可能性が高いです。また、「SNSで防災に関する投稿や広告を見た」などにも反応しており、日常生活の中で自然と防災情報を閲覧することで、防災行動を実践する傾向があります。

防災知識



男性

防災知識は平均的で、タイムラインやローリングストックなどのカタカナ言葉の防災知識は、他の項目と比較して持っている傾向があります。



女性

防災知識は平均的で、全体的に少しずつ知っている傾向があります。

防災行動



男性

防災行動の実施率は少し低いですが、飲料・食糧の備蓄や避難経路の確認はしている傾向があります。また、家庭の中で防災担当である割合が高く、家族を率先して防災行動を行っている可能性があります。



女性

防災行動の実施率は少し低いですが、「非常用持ち出しバッグの準備」はしている傾向があります。また、家庭の中では比較的防災担当である割合が高く、家族を率先して防災行動を行っている可能性があります。

特徴的な 防災データ



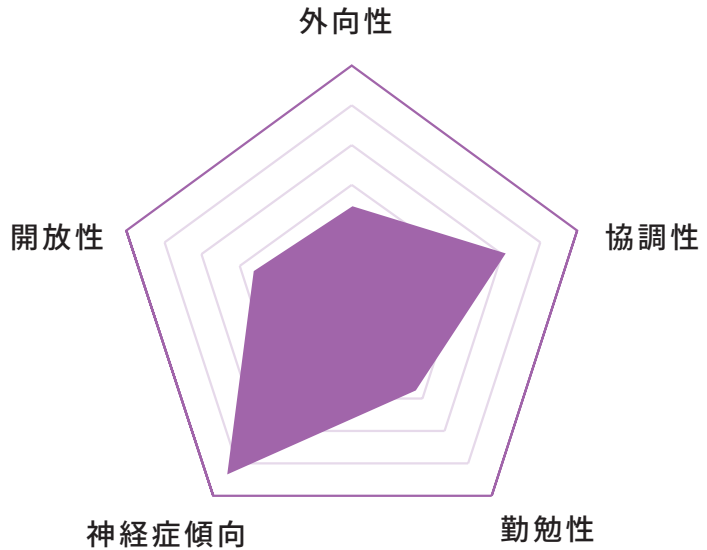
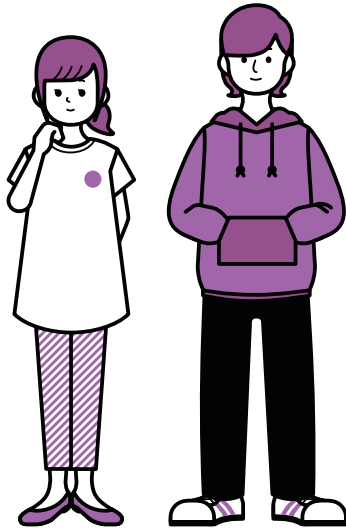
男性

現状として、「地域の防災訓練への参加」はそこまで実施していないのですが、家庭の中では「そこは自分の担当だ」と認識している傾向があります。そのため、このクラスターをうまく地域の防災訓練へ誘えば、参加につながるかもしれません。



女性

検討したが実施していない防災行動として、「非常用持ち出しバッグの準備」や、「家具の転倒防止や落下防止対策」、「地震保険への加入」が高い傾向があります。そのため、家庭の中でできる防災の必要性を感じはいるが、行動まで至っていない可能性があります。



人への共感性が高い感覚派。防災の面では、災害時の具体的な状況をイメージする力・防災行動の実施状況が低め。また、男性は防災知識はあまり持っておらず、女性は平均的な知識を持っている傾向があります。

防災スイッチ



全体的に防災行動につながりづらい傾向がありますが、「食品や日用品の日頃の買い置きが防災につながることを知る」など、日常生活でできる防災を知った時は防災行動につながる可能性があります。



共感性が高いため、「友人の避難所生活の体験や避難所に入れない可能性がある話を聞く」など友人の体験談を聞いたり、「防災をしていないことで、他の人に迷惑をかけることを知った」など人への影響を考えた場合に防災行動を実践する傾向があります。

防災知識



防災知識はあまり持っていませんが、「在宅避難」など家に関連する防災知識はある程度持っている傾向があります。



平均的な防災知識を持っています。特に、「必要な水の量」や「分散避難」などについて高い知識を持つ傾向があります。

防災行動



災害発生時にどのような対応を取れば良いか具体的なイメージはなく、防災行動の実施状況は低めです。その中では、「飲料・食糧の備蓄」は他の防災行動と比較して実施している傾向があります。また、家庭の中でもあまり防災は担当していません。



災害発生時にどのような対応を取れば良いか具体的なイメージはなく、防災行動もあまり実施していません。特に、「スマートフォンへの防災アプリのインストール」や「地域の防災訓練への参加」などはできていない傾向があります。

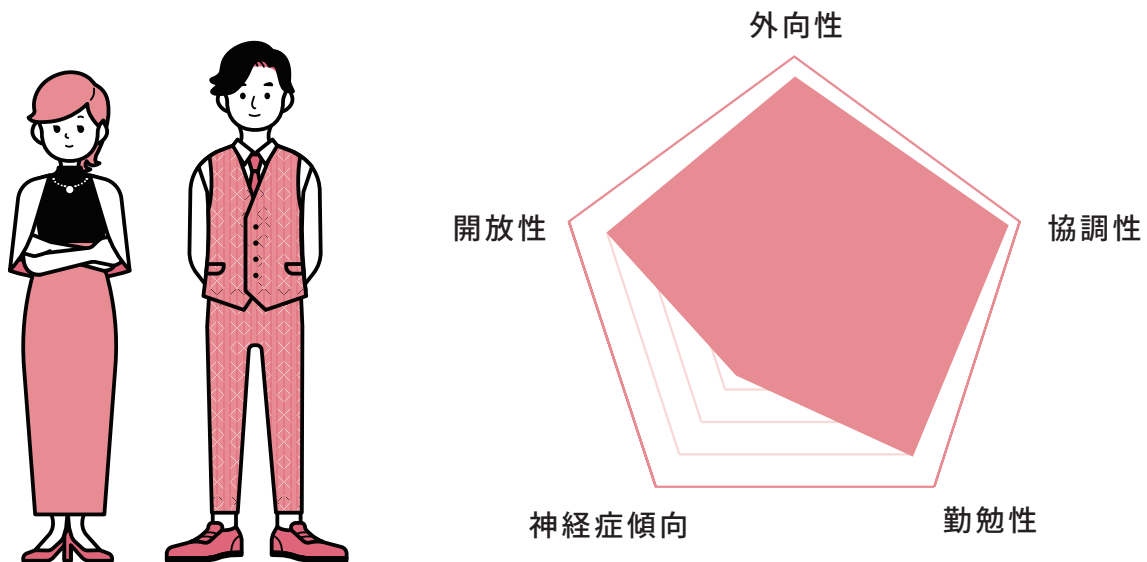
特徴的な
防災データ



防災知識はあまり持っていませんが、「在宅避難」など家に関連する防災知識はある程度持っている傾向があります。



平均的な防災知識を持っています。特に、「必要な水の量」や「分散避難」などについて高い知識を持つ傾向があります。



全傾向がある程度高い優等生タイプ。防災の面では、高い防災知識、災害時の具体的な状況をイメージする力を持ち、防災行動も実行している傾向があります。

防災スイッチ



「憧れの人・尊敬する人が防災をポジティブに実践していることを知る」、「話題の最新テクノロジーを用いた防災アプリを知る」、「SNSで防災に関する投稿や広告をみる」際に、防災行動につながる傾向があります。



「災害に関するデータを知る」、「人から話を聞く」など、あらゆることが防災スイッチとして、防災行動につながる傾向があります。

防災知識



非常に高い防災知識を持っています。特に、「自助・共助・公助」、「一斉帰宅の抑制」など、俯瞰した視点での防災について高い知識を持つ傾向があります。



非常に高い防災知識を持っています。特に、「緊急時の避難方法」などについて高い知識を持つ傾向があります。

防災行動



災害発生時にどのような対応を取れば良いか具体的なイメージがあり、しっかりと防災行動を実施しています。実施している防災行動の種類も「自宅周辺の災害リスクの確認や飲料・食糧の備蓄」、「地域の防災訓練への参加」など、多岐に渡ります。また、家庭でも家族をリードし、率先して防災を行っています。



災害発生時にどのような対応を取れば良いか具体的なイメージがあり、しっかりと防災行動を行っています。特に、「防災知識家具の転倒防止」や「備蓄」など、多くの防災行動を実施している傾向があります。また、家庭でも家族をリードし、率先して防災を行っています。

特徴的な
防災データ



高い災害時の具体的な状況をイメージする力と行動力を持つためか、一度防災について検討をすると、途中で諦めずに、高い確率で実施まで行います。そのため、このクラスターには防災について検討する機会を提供することで、防災行動につながる可能性があります。



検討したが実施していない防災行動として、「地域の防災訓練への参加」が高くなっています。このクラスターをうまく地域の防災訓練へ誘えば、参加につながり、地域連携のハブになってくれるかもしれません。

クラスターの活用方法



活用例 1

たいせつな人や自分に、ぴったりの防災を贈るサービス。

Personalized **BOSAI GIFT**

感謝やお祝いなど、誰かのことを思って贈るギフト。せっかくならば、その人のためになる、防災につながるプレゼントにしませんか？パーソナリティに関する10の質問から性格を分析。その性格を踏まえて、もっとも防災行動につながるギフトをご提案。

活用例 2

キャラクターのパーソナリティを分析し、
防災について考えるキャンペーン。

さまざまなキャラクターのパーソナリティを分析して、クラスターを明らかに。そのクラスターの防災知識や防災行動、防災スイッチを知ること、防災について話題にしたり、自分のパーソナリティについて考えることで、防災行動につなげるきっかけに。

実施例

株式会社復刊ドットコムによる
火の鳥《オリジナル版》全12巻刊行
記念特集
「火の鳥を読み、考える、
それぞれの防災」
において、火の鳥キャラクターの
パーソナライズ分析を行いました。

巨匠・手塚治虫の代表作にして、日本漫画史上不滅の傑作『火の鳥』。
35年間の長きにわたり、愛・生命・宇宙の神髄を、壮大なスケールと鮮烈なイマジネーションで描き続けられた超大作です。
東日本大震災から10年を迎え、また新型コロナウイルスへの恐怖や不透明な明日への不安にさらされる日々において、生きるとは、命とは、
といった根源的な命題を抱えること多い昨今、手塚治虫から『火の鳥』を通して受け取ることのできる、過去から私たちに託すメッセージ
は含蓄に富んでいます。復刊ドットコムでは、『新』『火の鳥《オリジナル版》』全12巻の刊行を記念し、特集『火の鳥』を読み、考える、
それぞれの防災』をお届けいたします。

クラスターの活用方法

キャラクターを選定して、
パーソナリティを分析。
ストーリーと紐付けて
防災傾向や防災スイッチ
を明らかに。

1. ヒナク (黎明編)



2. マサト (未来編)



3. プチ (鳳凰編)



4. ロビタ (復活編※)



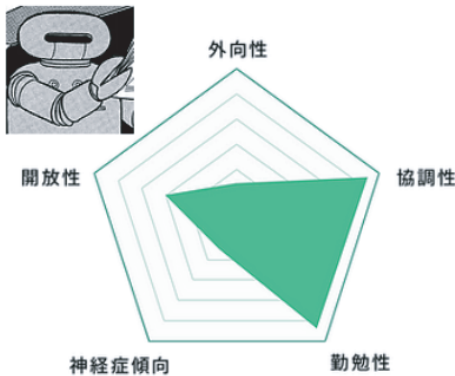
5. ヒノエ (乱世編)



6. ハリマ / 犬上宿禰 (太陽編)

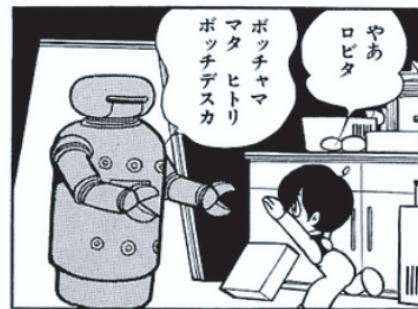


■ パーソナリティ分析結果： **穏やかタイプ**



パーソナリティ概要

ロビタのパーソナリティは、勤勉性と協調性が高めで、神経症傾向が低めの、「**穏やかタイプ**」。理不尽な主人の命令にも粛々と対応しながら、主人であった家庭の子供の行夫くんにも親よりも懐かれ、色々な遊びと一緒に実践して楽しませていたロビタ。このエピソードなど、穏やかタイプの特徴がよく表れていると言えるのではないのでしょうか。



■ 防災傾向 と 防災スイッチ



穏やかタイプの防災傾向

災害時の具体的な状況をイメージする力と危機感があり、防災知識も全体的に高い水準なのですが、防災行動にはあまりつながっていません。

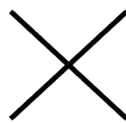
ロビタも、自身では災害の発生がどうなるかを理解し、危機感もあり、それに対応する知識もあるのですが、主人から防災の対応を命令されなかったため、防災行動を実施していなかったのかもしれない。

穏やかタイプの防災スイッチ

- 家の近くに災害の危険度が高いエリアがあることを知ったなど家の近くの災害危険性の認知などから、防災行動を実践する傾向があります。

主人の家の近くで災害の危険性を感じたら、防災の行動を実践するかもしれません。そのときに、主人から防災なんて必要ない、と言われたとしたら、ロビタはこう言うでしょう。「シカシ 旦那サマ・・・」。

パーソナライズド防災研究所について



パーソナライズド防災研究所は、一般社団法人減災ラボと一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワークが立ち上げたプロジェクト型の研究所です。

一般社団法人減災ラボ

減災ラボは、今まで防災や減災に関心のなかった人も含めてより多くの人に、防災・減災を身近なことにしてもらい、個々人が災害を乗り越える力を持ち、少しでも災害の被害を減らす社会や地域をつくることを目的としています。

代表理事 鈴木光

〔本社〕

神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビルさくらWORKS<関内>407アカデミック・リソース・ガイド株式会社(ARG)気付

〔横浜ラボ〕

神奈川県横浜市港北区師岡町 468-12-510

<https://www.gensai-lab.com>

一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク

組立式の段ボールジオラマキットを活用したワークショップ型の防災学習プログラムを提供。自分の住んでいるエリアの地図が印刷された段ボールジオラマをみんなで組み立て、楽しみながらまちの地形や災害リスクを学ぶことができるというものです。

代表理事 上島洋

神奈川県横浜市中区相生町 2-52-302

<https://www.bosai-diorama.or.jp>

〈ご連絡先〉

contact@pb-lab.jp